

注文系は着実に回復傾向

9月からの着工大幅減予測も

住宅

住宅各社の受注金額速報値

社名	前年同月比%				
	3	4	5	6	7
積水ハウス	81	66	81	93	85
大和ハウス工業	80	68	74	94	82
積水化学工業	89	71	73	86	—
パナソニックホームズ	79	71	51	99	—
ミサワホーム	75	73	74	80	98
住友林業	70	65	76	82	104
旭化成ホームズ	68	40	34	69	86
三井ホーム	71	54	69	76	—
上記8社平均	77	64	67	85	91
タマホーム	83	118	119	103	97
ヤマダホームズ	88	124	96	105	137
ヒノキヤグループ	69	110	81	82	130
ケイアイスター不動産	—	107	132	125	134
三栄建築設計	—	74	155	132	—
オーブンプラハウス	—	61	143	152	—
上記6社平均	80	99	121	117	125

※各社の発表を基に集計

「今月から受注回復が目立ち始めるかもしれない」（大手住宅会社）。注文系住宅会社が6月から営業活動を再開し、大手8社の受注金額平均も4〜5月を大底に2カ月連続で増加した。緊急事態宣言解除後の6月から商談を始めた顧客が、約2カ月後に受注契約者として上がり始める。有力ビルダーは引き続き好調で、なかには過去最高の受注契約額を更新し続ける企業もある。その一方で、9月前後からの住宅着工大幅減を予想する声も少なくない。

外出自粛期間（3〜5月）の住宅受注減減だが、持ち家は同18月の持ち家着工約18%減は、4月上旬からの緊急事態宣言による着工順延などを反映したもので、3月からの受注減による影響は先だ。4〜6月の着工延期物件が7月ごろから動き出すと同時に、受注減による着工減も重なり始めるため複雑

だ。4〜6月の着工減が、6月前後から目立ち始めたプレカット工場の受注1〜2割減と符合する。それと同時に3〜5月の住宅営業難により、9月前後からプレカットの受注が大きく減ると見る工場も少なくない。注文住宅会社の受注がプレカット工場に依頼されるのは約半年後から、という計算だ。一方、注文住宅会社の受注は、6月から回復傾向にある。これが、先の計算どおりである。半年後の12月前後からプレカット工場の受注に反映される。6月以降、プレカット工場の受注に反映される。6月以降、プレカット工場の受注に反映される。6月以降、プレカット工場の受注に反映される。

3〜5月の外出自粛の立ち直りもビルダーの受注が回復し始めた」という声が聞かれる。また、注文住宅会社の多くが展示場や現場見学会などでの集客を要するため営業再開が遅れ、それが受注速報にも表れている。その後、急激に上昇した。ある分譲大手は、顧客と知り合った。6月からの再開平均40〜45日で契約に至るといふ。4月の緊急事態宣言で一時は顧客も様子をみたが、すぐにまた動き出した様子が見える。

木材・建材業界は、時間差で表れると予想されるコロナ禍の影響に身構えている。新設住宅着工は6月まで1割前後の減少で踏みとどまっているが、先行きもう一段の落ち込みへの警戒感が拭えず、流通業者は思い切った仕入れができずにいる。このため、既に構造材は競合の激しい横架材を中心に価格競争に突入。いち早くメーカーが減産に入った国産針葉樹合板も市価格の下落は防げなかった。秋から年末にかけては業界にとつて需要期に当たるが、コロナ禍の今年はどうか。資材別、地域別に検証する。（つづく）

身構える製品市場

需要期を展望する

2月下旬以降の外出自粛要請を受けて3月かもので、3月からの受注減による影響は先だ。4〜6月の着工延期物件が7月ごろから動き出すと同時に、受注減による着工減も重なり始めるため複雑

だ。4〜6月の着工延期物件が7月ごろから動き出すと同時に、受注減による着工減も重なり始めるため複雑

leitz 新次元の解決策
精密機械刃物
ツールシステム

ライツ株式会社
〒223-0059 横浜市港北区新横浜2-7-2
Tel 045-533-3020 Fax 045-533-3021
ホームページ www.leitz.co.jp